

# 平成27年度第2回新潟市病院事業運営審議会

## 次 第

日時：平成28年3月22日（火） 午後6時～

場所：新潟市民病院 3階 307会議室

### 1 開会

### 2 病院事業管理者（院長）挨拶

### 3 議事

（1）平成27年度病院事業について

（2）平成28年度病院運営について

（3）平成28年度予算について

（4）中期計画の平成27年度実績見込評価について（報告）

（5）新公立病院改革プラン（新・中期計画）について

### 4 その他

## 議事第1号 平成27年度病院事業について

### ア. 病院機能から見た地域医療への貢献

- 病床機能報告制度では、「高度急性期」「急性期」を選択
- 病診・病病連携をさらに強化。紹介率 69.8%、逆紹介率 70.0%

### イ. 患者支援を大切にしたい信頼されるぬくもりのある質の高い医療

- 平成27年4月より、患者総合支援センター「スワンプラザ」立ち上げ
- 緊急患者の当日受入率は87%まで上昇。9科で入院支援実施。当日相談実施率は94%
- 高精度放射線治療装置の稼働、心臓リハビリテーションの開始、  
術中3Dナビゲーション手術を開始予定

### ウ. 職員満足度の向上

- 満足度調査結果「この病院を薦める」57.3%、「働いていることに満足している」58.2%、  
「この病院で働くことで、専門的な技術や知識が向上する」68.8%
- 看護部におけるサンクスカードの配布や「ほめる活動」の継続

### エ. 健全経営

- 経営改善に関する主な取り組み
  - ①手術枠の見直し
  - ②救急搬送依頼に対する応需率の向上
  - ③各科の病床数見直し
- 後発医薬品の採用、術前検査・がん化学療法の外來移行
- 手術支援ロボット「da Vinci」による治療、高精度放射線治療装置の導入

## 議事第2号 平成28年度病院運営について

### ア. 地域医療への貢献

- 引き続き「高度急性期」「急性期」を選択
- 新潟医療圏で重症・専門・救急医療を担う
- 地域包括ケア病棟・回復期病棟をもつ病院との連携を強化

### イ. チーム医療の推進

- 救急医療チーム、栄養サポートチーム、感染制御チーム、緩和ケアチーム、褥瘡対策チーム、摂食嚥下サポートチーム、心臓リハビリチーム
- 患者総合支援センターにおけるMSWの増員、相談窓口の一元化
- 地域がん診療連携拠点病院として、専門医、認定看護師・薬剤師の協働により安全で質の高いがん治療を提供
- 患者満足度 入院94%、外来89%

### ウ. 職員がモチベーションを高く持ち、安心して働ける病院

- 7:1看護の維持
- 外来の予約制、医療秘書・看護補助員の採用
- 院内外の研究会・研修会への参加を奨励、支援
- 看護部におけるサンクスカードの配布や「ほめる活動」の継続

### エ. 健全経営の推進

- 「総合入院体制加算1」、「診療録管理体制加算1」を取得見込み
- 救急搬送患者数・新入院患者数の増加
- 質の高いがん治療、救急医療

## 平成28年度 病院事業会計 当初予算概要

## 1. 業務予定量

区分	28年度当初予算 A	27年度当初予算 B	差引増減 A-B	(参考) 26年度決算
入院				
病床利用率 (精神・感染症除く一般病床)	91.7 % ( 93.5 %)	91.7 % ( 93.5 %)	—	89.0% ( 91.0%)
1日平均患者数	620人	620人	—	601人
延患者数	226,233人	226,853人	△ 620人	219,537人
入院単価 (精神・感染症除く一般病床)	67,620円 ( 68,400円)	67,029円 ( 67,800円)	591円 ( 600円)	67,568円 ( 68,216円)
外来				
延患者数	272,160人	272,160人	—人	219,537人
1日平均患者数	1,120人	1,120人	—人	1,103人
外来単価	17,600円	16,400円	1,200円	16,675円

## 2. 病院事業会計予算案

(単位：千円)

区分	28年度当初予算 A	27年度当初予算 B	差引増減 A-B	増減比率 A/B	(参考) 26年度決算
事業収益	24,452,232	23,761,791	690,441	102.9%	23,185,712
医業収益	20,567,439	20,145,851	421,588	102.1%	19,816,101
うち入院収益	15,297,767	15,205,823	91,944	100.6%	14,833,677
外来収益	4,790,016	4,463,424	326,592	107.3%	4,504,157
医業外収益	3,853,959	3,586,428	267,531	107.5%	3,162,193
うち負担金交付金	2,387,667	2,229,797	157,870	107.1%	1,899,268
うち長期前受金戻入	1,090,607	984,530	106,077	110.8%	870,330
附帯事業収益	20,834	19,512	1,322	106.8%	19,878
特別利益	10,000	10,000	0	100.0%	187,540
事業費用	24,384,959	23,674,783	710,176	103.0%	27,603,359
医業費用	23,730,805	22,981,539	749,266	103.3%	22,269,603
うち給与費	11,562,093	11,003,208	558,885	105.1%	10,627,018
材料費	6,488,354	6,117,136	371,218	106.1%	6,171,233
経費	3,393,637	3,602,632	△ 208,995	94.2%	3,356,459
減価償却費	2,148,574	2,125,377	23,197	101.1%	2,017,740
医業外費用	591,947	630,452	△ 38,505	93.9%	594,627
附帯事業費用	51,207	51,792	△ 585	98.9%	50,188
特別損失・予備費	11,000	11,000	0	100.0%	4,688,941
収支損益	67,273	87,008	△ 19,735	77.3%	△ 4,417,647
經常収支	68,273	88,008	△ 19,735	77.6%	83,754
資本的收入	1,381,729	1,484,344	△ 102,615	93.1%	2,776,286
企業債	350,000	566,000	△ 216,000	61.8%	1,943,900
負担金・補助金等	1,031,729	918,344	113,385	112.3%	832,386
資本の支出	2,508,680	2,501,162	7,518	100.3%	3,692,070
建設改良費	597,491	811,558	△ 214,067	73.6%	2,219,111
企業債償還金	1,911,189	1,689,604	221,585	113.1%	1,472,959
資本的収支不足額	△ 1,126,951	△ 1,016,818	△ 110,133	110.8%	△ 915,784
内部留保資金(引当金除く)	6,348,648	5,852,679	495,969	108.5%	5,810,098

H27決算見込み

6,227,329

## 3. 主な建設改良事業

&lt; 器械備品購入費 &gt;

(単位：千円)

事業費	財源内訳		
	企業債	補助金等	損益勘定留保資金
407,000	350,000	0	57,000

## 中期計画の平成27年度実績見込評価について（報告）

## I 評価結果概要

- ・「重症救急患者受入れへのシフト」では、救急車による患者受入れ人数が、年度末で6,200人と指標は達成できないものの前年比700人余り増加する見込みである。また緊急母体搬送、非緊急母体搬送ともに積極的に受け入れており、搬送応需不能例は少数であったため、評価4とした。
- ・「地域の基幹病院として高度・先進・専門医療の提供」では、地域がん診療連携拠点病院として、日常的な臨床監査の評価尺度（STAS-J）を利用し、入院患者及び外来化学療法実施者全例に対しスクリーニングを行い、緩和ケア管理の充実に取り組んでいることから、評価4とした。
- ・「職員満足度の向上」では、過重労働対策該当者が前年比1.16%増加し、中でも医師の過重労働対策該当者が前年比で月平均20人程増加してしまった。さらに、職員満足度調査における総合的な充足度も低下していることから、評価2とした。

## II 評価一覧（5:計画値以上達成 4:計画値通り 3:概ね計画値通り 2:計画値を大きく未達成 1:未着手）

視点	基本方針	主要項目	評価		
			H27	H26	H25
患者	患者さんに信頼される、 ぬくもりのある医療をめざします	患者サービスの充実	3	4	3
		医療安全対策	4	4	3
		感染対策（H26年度から項目新設）	3	4	—
		第三者評価	4	4	5
		医療の質の可視化	3	4	3
業務	重症・専門・救急を中心に、 質の高い医療をめざします	重症救急患者受入れへのシフト	4	3	3
		地域の基幹病院として高度・先進・専門 医療の提供	4	3	4
	地域医療機関や福祉施設と連携し 人々の健康支援をめざします	地域医療支援病院としての機能の充実	4	4	4
		公立病院として地域医療に貢献	4	4	3
人材	人間性豊かな医療人の育成を めざします	臨床研修指定病院としての機能の充実	4	3	4
		計画的な職員採用と人材育成の充実	3	3	3
		付帯設備の機能充実	4	4	4
		職員満足度の向上	2	3	3
財務	健全経営を推進します	効率的経営の推進	3	3	4

平成27年度 新潟市民病院 中期計画 実績見込評価

評価点 5:計画値以上に達成 4:計画値通り達成 3:概ね計画値通り達成 2:計画値を大きく未達成 1:未着手

1.事業計画		年度						計画期間	平成25年度～29年度		
視点	基本方針	患者ととも		にある全人的医療				平成29年度(2017)	備考		
		目標及び指標	平成25年度(2013)		平成26年度(2014)		平成27年度(2015)		平成28年度(2016)	平成29年度(2017)	
		目標	実績		実績		評価(見込)		目標	目標	
患者サビスの充実	患者さんへの信頼される、ぬくもりのある医療をめざします	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者相談窓口の充実</li> <li>ボランティア活動の推進</li> <li>広報活動の充実</li> <li>クレームに対する適切な対応と改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者相談窓口の充実</li> <li>ボランティア活動の推進</li> <li>広報活動の充実</li> <li>クレームに対する適切な対応と改善</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>患者相談窓口の充実</li> <li>ボランティア活動の推進</li> <li>広報活動の充実</li> <li>クレームに対する適切な対応と改善</li> </ul>		<p>評価点【3】</p> <p>患者相談94件、クレーム、要望、感謝など511件。総数としては昨年度と同じような傾向。患者相談は、スワンプラザ開設の影響か、看護に関するものはほとんどなく、相談者は昨年同様継続して対応している方やクレームがあり関わった方が主であった。特定共同指導もあり、相談室の看板を総合案内、相談室前に大きく表示した。その結果、相談室利用は昨年度より増加した。</p> <p>がんサロンが移転したので、図書館の受付を増員した。外来サポート体制が手薄でボランティアからも増員の要望があり、ボランティア募集を数回行い3名新規採用があったが、4名辞退があり増加はなかった。定期広報紙を予定通り発行した。ご自由にお取り下さいのケースの置き方を変更、屋上や放射線治療室待合などにも設置し、昨年と比べ追加発行が増えている。SKIPの設置も開始した。</p> <p>患者相談カンファレンスで検討された事項について関連部署に業務変更を検討してもらうなど業務改善につながった事例あり精算機前は足跡、矢印の表示をした。</p> <p>一昨年から施設に関する課題が保留のままであることから、未解決事項のリストを作成し、患者カンファレンスで管理課と確認実施を開始した。</p> <p>キャッチボールひろば掲示板開始ご意見への対応を公開している。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>患者相談窓口の充実</li> <li>ボランティア活動の推進</li> <li>広報活動の充実</li> <li>クレームに対する適切な対応と改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者相談窓口の充実</li> <li>ボランティア活動の推進</li> <li>広報活動の充実</li> <li>クレームに対する適切な対応と改善</li> </ul>	
		①患者満足度調査結果	①入院96%、外来90%	①入院 95.48%、外来 91.61%	①入院96%、外来92%	①入院95%、外来90%	①入院96%、外来92%	①入院94%、外来89%	①入院96%、外来92%	①入院96%、外来92%	①患者満足度 ・肯定的な回答の割合
		②ボランティア登録数	②50人	②46人	②50人	②53人	②55人	②51人	②55人	②60人	
③患者相談窓口での相談件数	③120件	③120件	③120件	③85件	③130件	③80件	③130件	③140件			
④患者図書室蔵書数	④700冊	④673冊	④725冊	④680冊	④750冊	④775冊	④775冊	④800冊			
⑤患者図書室貸出数	⑤1,050冊以上	⑤1,123冊	⑤1,100冊以上	⑤1,340冊(巡回図書 11,135冊)	⑤1,150冊以上	⑤791冊(巡回図書 9,089冊)	⑤1,200冊以上	⑤1,250冊以上			
⑥ホームページの更新	⑥100%	⑥80%	⑥100%	⑥100%	⑥100%	⑥80%	⑥100%	⑥100%	⑥定期更新年2回、ホームページ検討部会月1回の実施率		
⑦院内の案内掲示	⑦評価8以上	⑦評価8	⑦評価8以上	⑦入院 評価8、外来 評価8	⑦評価8以上	⑦入院 評価8、外来 評価8	⑦評価8以上	⑦評価8以上	⑦案内表示に関する患者満足度の評価結果		
⑧クレーム	⑧7.120件以上	⑧7.117件	⑧7.120件以上	⑧7.182件	⑧7.120件以上	⑧7.200件	⑧7.120件以上	⑧7.120件以上	⑧エ.利用者からの意見にもとづく施設・設備等の改善件数		
⑨退院時医療費のお知らせ作成率(患者配布率)	⑨65%	⑨67.8%	⑨70%(患者配布率60%)	⑨75%(患者配布率60%)	⑨75%(患者配布率65%)	⑨77%(患者配布率71%)	⑨80%(患者配布率70%)	⑨80%(患者配布率70%)	⑨実退院患者に対し会計作成または算算作成した割合。平成26年度より「患者配布率」を指標に追加		
医療安全対策	医療安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>インシデント報告の分析と改善策の検討</li> <li>インフォームド・コンセント文書の見直し・修正</li> <li>医療安全研修の充実</li> <li>医療事故に対する適切な対応と再発防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インシデント報告の分析と改善策の検討</li> <li>インフォームド・コンセント文書の見直し・修正</li> <li>医療安全研修の充実</li> <li>医療事故に対する適切な対応と再発防止</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>インシデント報告の分析と改善策の検討</li> <li>インフォームド・コンセント文書の見直し・修正</li> <li>医療安全研修の充実</li> <li>医療事故に対する適切な対応と再発防止</li> </ul>		<p>評価点【4】</p> <p>毎週1回医療安全管理対策委員会カンファレンスを行ない、事例を共有し部署検討、全体検討などを話し合った。部署での事例分析から改善策・評価を行なっている。毎月の部署巡回で対策立案の支援を行なっている。</p> <p>インフォームド・コンセント文書の見直しについては、各科に任せている。</p> <p>医療安全研修については、予定通り行なっている。</p> <p>一昨年の医療事故については、M&amp;Mカンファレンスで取り上げた。</p> <p>医療事故調査制度が開始となり、職員に対してのアナウンスをセーフティ全体会等の場を利用して行なった。</p> <p>医療安全指針の改定を行なっている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>インシデント報告の分析と改善策の検討</li> <li>インフォームド・コンセント文書の見直し・修正</li> <li>医療安全研修の充実</li> <li>医療事故に対する適切な対応と再発防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インシデント報告の分析と改善策の検討</li> <li>インフォームド・コンセント文書の見直し・修正</li> <li>医療安全研修の充実</li> <li>医療事故に対する適切な対応と再発防止</li> </ul>	
		①医療安全研修会開催回数(医療安全管理室が主催)	①2回	①3回	①2回	①4回	①2回	①4回	①2回	①2回	
		②多職種による事例検討会(M&Mカンファレンス)	②12回以上	②6回	②12回以上	②14例	②12回以上	②12回	②12回以上	②12回以上	②セーフティ全体会議での検討も含む
③医師インシデント報告の比率	③4%	③4.7%	③4%	③5.9%	③5%	③6%	③5%	③5%			
④入院患者の転倒・転落発生率	④2.0%以下	④1.93%	④2.0%以下	④1.8%	④2.0%以下	④1.8%	④2.0%以下	④2.0%以下			
⑤転倒・転落による損傷発生率	⑤0.2%以下	⑤0.21%	⑤0.2%以下	⑤0.2%	⑤0.2%以下	⑤0.2%	⑤0.2%以下	⑤0.2%以下			
⑥手術患者における肺血栓塞栓症の発生件数	⑥0件	⑥0件	⑥0件	⑥0件	⑥0件	⑥0件	⑥0件	⑥0件			
感染対策	感染対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>【H26年度から項目新設】</li> <li>感染管理研修の充実</li> <li>医療関連感染症の防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【H26年度から項目新設】</li> <li>感染管理研修の充実</li> <li>医療関連感染症の防止</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>感染管理研修の充実</li> <li>医療関連感染症の防止</li> </ul>		<p>評価点【3】</p> <p>年間の研修予定通りの開催を行なうことが出来た。出席の出来ない職員に対して計26回のDVD研修を行い参加人数の増加に努めた。研修への参加の延べ人数として前年度より401名(20.8%)増加できた。</p> <p>医療関連感染症については、昨年度に引き続き人工呼吸器関連肺炎の防止に対して、口腔内ケアの徹底、早期リハビリテーションの実施など予防バンドルケアを積極的に実施した。結果は目標に達することができず、悪化した数値になったが、収容患者のリスクによる影響と考えており、全体としては良い方向に改善されてきているものと捉えている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>感染管理研修の充実</li> <li>医療関連感染症の防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染管理研修の充実</li> <li>医療関連感染症の防止</li> </ul>	
		①感染制御室が主催する研修会開催回数	①7.3回	①7.3回	①7.3回	①7.3回	①7.3回	①7.3回	①7.3回	①7.3回	
		②人工呼吸器関連肺炎感染率(感染数/対象患者日数*1,000)	②8.34	②8.34	②6以下	②5.49	②5以下	②7.48	②4以下	②3以下	①職種別参加率:1回以上参加した職員比率
第三者評価	第三者評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院機能評価の認定更新(H25)</li> <li>赤ちゃんとやさしい病院(BFH)の認定取得(H25)</li> <li>日本輸血細胞治療学会I&amp;Aの認定更新(H26)</li> <li>赤ちゃんとやさしい病院(BFH)の認定取得</li> <li>卒後臨床研修評価機構の認定更新(H27)</li> <li>救急医療機能(付加機能)評価の認定更新(H27)</li> <li>病院事業運営審議会による評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院機能評価の認定更新</li> <li>赤ちゃんとやさしい病院(BFH)の認定取得</li> <li>病院事業運営審議会による評価</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>日本輸血細胞治療学会I&amp;Aの認定更新</li> <li>病院事業運営審議会による評価</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>救急医療機能(付加機能)評価の認定更新</li> <li>卒後臨床研修評価機構の認定更新</li> <li>病院事業運営審議会による評価</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>病院事業運営審議会による評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院事業運営審議会による評価</li> </ul>	
		①病院機能評価(H25)	①病院機能評価 認定更新	①認定更新	①日本輸血細胞治療学会 I&A 認定更新	①認定更新	①救急医療機能(付加機能)評価認定更新	①2016年1月8日受審 認定更新予定	①運営審議会 2回(10月・2月)	①運営審議会 2回(10月・2月)	
		②赤ちゃんとやさしい病院(H25)	②赤ちゃんとやさしい病院 認定取得	②認定取得	②運営審議会 2回(10月・2月)	②2回(11/17,2/16)	②卒後臨床研修評価機構認定更新	②2015年9月4日受審 2015年11月1日認定更新			
③病院事業運営審議会の開催	③運営審議会 2回(10月・2月)	③2回開催(10/29,2/17)	③運営審議会 2回(10月・2月)	③2回(11/17,2/16)	③運営審議会 2回(10月・2月)	③2回(10/23,3/22)					

視点	基本方針	主要項目	年度		平成25年度(2013)		平成26年度(2014)		平成27年度(2015)		平成28年度(2016)		平成29年度(2017)		備考
			目標及び指標	目標	目標	実績	目標	実績	目標	実績(見込)	目標	実績(見込)	目標	実績(見込)	
患者	患者	医療の質の可視化 患者の安心・信頼を高める	目標	目標	目標	目標	目標	目標	評価点【3】 昨年に引き続き日本病院会と全国自治体病院協議会の事業に参加し、データを提出した。全国との比較に加え、自院の変化の状況をホームページに掲載する準備をしている。今後も引き続きデータ提出を続け、より多くの情報を公表できるようにする。	目標	目標	目標	目標		
			・クオリティインディケーターへの導入と拡充	・クオリティインディケーターへの導入と拡充	・クオリティインディケーターへの導入と拡充						・クオリティインディケーターへの導入と拡充	・クオリティインディケーターへの導入と拡充			
			指標	指標	指標	実績	指標	実績	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	
			①クオリティ・インディケーターへの導入数	①25項目	①25項目	①30項目	①57項目	①35項目	①57項目	①40項目	①45項目				
			②クオリティ・インディケーターへの公開数	②25項目	②15項目	②30項目	②17項目	②35項目	②30項目	②40項目	②45項目				
重症・専門・救急を中心に、質の高い医療をめざします	重症・専門・救急を中心に、質の高い医療をめざします	重症救急患者受入れへのシフト	目標	目標	目標	目標	目標	目標	評価点【4】 「救命救急・循環器病・脳卒中センター」の機能充実について、今年度半ばより、救急車受け入れ数が増加しており、目標とした6300人に迫る見込みである。 「総合周産期母子医療センター」の機能充実について、緊急母体搬送、非緊急母体搬送を積極的に引き受けた。新生児搬送も例年通りの実績であり、地域の周産期医療のニーズに応えてきた。搬送依頼応需不能例は少数例であった。最近ではMFICUを含めた産科病床の満床が規定因子になってきている。MFICUの加算ベースの稼働率は79.4%であるが、実際(部屋ベース)の病床利用率は88.9%である。 一次患者の占める割合も減少する見込みで、当院の地域における役割を鑑みれば、非常に良い傾向と思われる。 救急ステーションとの連携も良好で、昨年並みのペースでドクターカー出動も行われている。	目標	目標	目標	目標		
			・「救命救急・循環器病・脳卒中センター」の機能充実 ・「総合周産期母子医療センター」の機能充実 ・救急ステーションとの連携強化 ・医師会や二次輪番病院との連携強化 ・一次救急患者の占める割合の低減	・「救命救急・循環器病・脳卒中センター」の機能充実 ・「総合周産期母子医療センター」の機能充実 ・救急ステーションとの連携強化 ・医師会や二次輪番病院との連携強化 ・一次救急患者の占める割合の低減	・「救命救急・循環器病・脳卒中センター」の機能充実 ・「総合周産期母子医療センター」の機能充実 ・救急ステーションとの連携強化 ・医師会や二次輪番病院との連携強化 ・一次救急患者の占める割合の低減						・「救命救急・循環器病・脳卒中センター」の機能充実 ・「総合周産期母子医療センター」の機能充実 ・救急ステーションとの連携強化 ・医師会や二次輪番病院との連携強化 ・一次救急患者の占める割合の低減	・「救命救急・循環器病・脳卒中センター」の機能充実 ・「総合周産期母子医療センター」の機能充実 ・救急ステーションとの連携強化 ・医師会や二次輪番病院との連携強化 ・一次救急患者の占める割合の低減			
			指標	指標	指標	実績	指標	実績	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	
			①救急患者の受入人数	①14,000人	①13,272人	①14,000人	①12,624人	①14,000人	①14,000人	①14,000人	①14,000人				
			②うち救急車による人数	②6,100人	②5,834人	②6,200人	②5,483人	②6,300人	②6,200人	②6,400人	②6,500人				
			③ドクターカーの出動回数	③1,600回	③1,617回	③1,600回	③1,676回	③1,600回	③1,600回	③1,600回	③1,600回				
			④NICU稼働率	④NICU 95%	④NICU 98.8%(部屋ベース)	④NICU 95%	④NICU 98.1%(部屋ベース)	④NICU 95%	④NICU 99.0%(部屋ベース)	④NICU 95%	④NICU 95%				
			MFICU稼働率	MFICU 80%	MFICU 95.0%(部屋ベース)	MFICU 80%	MFICU 90.6%(部屋ベース)	MFICU 80%	MFICU 88.9%(部屋ベース)	MFICU 80%	MFICU 80%				
			⑤救命救急・循環器病・脳卒中センターにおける一次救急患者の占める割合	⑤55%以下	⑤55.3%	⑤55%以下	⑤52.9%	⑤53%以下	⑤53%	⑤53%以下	⑤53%以下				
			⑥同三次救急患者の占める割合	⑥8%	⑥8.1%	⑥8%	⑥7.7%	⑥9%	⑥10%	⑥9%	⑥10%				
地域	地域	地域の基幹病院として	目標	目標	目標	目標	目標	目標	評価点【4】 平成27年度も引き続き全国で99施設のDPC病院Ⅱ群(大学病院本院に準じた高密度診療病院群)に属し、高度医療の実施、重症患者に対する診療の実施、多くの臨床研修医の育成を行った。 バス適用率は、入院患者の23~25%と徐々に増加してきている。適用患者数は、入院患者総数の約4分の1である。 平成27年度の五大病市民公開講座は5回、医療者向けの教育講演は1回すでに実施された。平成27年4月から12月までにかん患者指導管理は568件(がん患者指導管理:156件、Ⅱ:133件、Ⅲ:279件)実施され、がん患者の心理的不安を軽減することに努めている。平成26年10月よりSTAS-Jを、入院がん患者および外来化学療法実施者全例に対してスクリーニングを行い、がん患者の状態を把握することで緩和ケア管理の充実に取り組んでいる。 STAS-Jは入院がん患者に対しては、平成26年10月から3月までは1404件、平成27年4月から12月までは2151件だった。そのうち緩和ケアチームの介入が必要だった件数は平成26年10月から3月までは37件(2.6%)、平成27年4月から12月までは43件(2%)だった。外来がん化学療法患者のSTAS-J実施は、平成26年10月から3月までは376件、平成27年4月から12月までは632件だった。	目標	目標	目標	目標		
			・地域の基幹病院としての役割発揮 ・電子クリニカルパスの推進 ・新病棟(精神科)開設の円滑な実施(H25) ・地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	・地域の基幹病院としての役割発揮 ・電子クリニカルパスの推進 ・新病棟(精神科)開設の円滑な実施 ・地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	・地域の基幹病院としての役割発揮 ・電子クリニカルパスの推進 ・新病棟(精神科)開設の円滑な実施 ・地域がん診療連携拠点病院としての機能充実						・地域の基幹病院としての役割発揮 ・電子クリニカルパスの推進 ・地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	・地域の基幹病院としての役割発揮 ・電子クリニカルパスの推進 ・地域がん診療連携拠点病院としての機能充実			
			指標	指標	指標	実績	指標	実績	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	
			①手術件数	①7,000件	①7,206件	①7,000件	①6,990件	①7,200件	①7,000件	①7,200件	①7,400件				
			・うち腹腔鏡下手術	・540件	・766件	・545件	・543件	・550件	・586件	・555件	・560件				
			・うち大動脈ステンドグラフト治療件数	・40件	・44件	・45件	・62件	・50件	・65件	・55件	・60件				
			・うち心大血管(心臓と胸部大動脈瘤)手術数	・150件	・159件	・150件	・168件	・150件	・175件	・150件	・150件				
			②消化器内視鏡手術数	②7,200件	②7,175件	②7,220件	②7,172件	②7,240件	②7,195件	②7,260件	②7,280件				
			ア.胃癌の内視鏡的粘膜下剥離術(ESD)	4.15件	4.13件	4.20件	4.39件	4.25件	4.40件	4.30件	4.35件				
			イ.食道癌の内視鏡的粘膜下剥離術(ESD)	4.10件	4.14件	4.20件	4.25件	4.25件	4.40件	4.30件	4.40件				
			③リニアック治療件数	③8,500件	③7,982件	③8,500件	③7,967件	③8,500件	③8,000件	③8,500件	③8,500件				
			④脳血管内手術数	④50件	④61件	④55件	④66件	④60件	④60件	④65件	④70件				
			⑤冠動脈カテーテル治療件数	⑤350件	⑤271件	⑤350件	⑤251件	⑤350件	⑤245件	⑤350件	⑤350件				
			⑥ペースメーカー補込数(新規補込)	⑥50件	⑥56件	⑥50件	⑥31件	⑥50件	⑥57件	⑥50件	⑥50件				
			⑦補込型除細動器件数(新規補込)	⑦25件	⑦29件	⑦25件	⑦24件	⑦25件	⑦29件	⑦25件	⑦25件				
			⑧電子クリニカルパス稼働率	⑧12%以上	⑧20%	⑧15%以上	⑧23%	⑧17%以上	⑧23~25%	⑧20%以上	⑧20%以上				
			⑨がん相談支援センターの相談件数	⑨625件	⑨721件	⑨650件	⑨651件	⑨675件	⑨736件	⑨700件	⑨725件				
			⑩五大病地域連携バス稼働数	⑩25件	⑩15件	⑩30件	⑩23件	⑩35件	⑩23件	⑩40件	⑩45件				
			⑪院内がん登録数	⑪1,600件	⑪1,722件	⑪1,620件	⑪1,707件	⑪1,640件	⑪1,815件	⑪1,660件	⑪1,680件				
			⑫五大病公開講座の開催回数	⑫6回	⑫5回	⑫6回	⑫6回	⑫6回	⑫5回	⑫6回	⑫6回				

⑧稼働数把握が困難なため稼働率のみとする

視点 基本 方針	主要 項目	年度		平成25年度(2013)		平成26年度(2014)		平成27年度(2015)		平成28年度(2016)		平成29年度(2017)		備考
		目標及び指標	目標	指標	実績	指標	実績	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	
業 務	地域医療支援病院としての機能の充実 地域医療機関や福祉施設と連携し、人々の健康支援をめざします	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病連携、病診連携の推進</li> <li>・外来医療から入院医療へのシフト</li> <li>・地域の保険薬局薬剤師との連携</li> <li>・地域連携バスの拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病連携、病診連携の推進</li> <li>・外来医療から入院医療へのシフト</li> <li>・地域の保険薬局薬剤師との連携</li> <li>・地域連携バスの拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病連携、病診連携の推進</li> <li>・外来医療から入院医療へのシフト</li> <li>・地域の保険薬局薬剤師との連携</li> <li>・地域連携バスの拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病連携、病診連携の推進</li> <li>・外来医療から入院医療へのシフト</li> <li>・地域の保険薬局薬剤師との連携</li> <li>・地域連携バスの拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病連携、病診連携の推進</li> <li>・外来医療から入院医療へのシフト</li> <li>・地域の保険薬局薬剤師との連携</li> <li>・地域連携バスの拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病連携、病診連携の推進</li> <li>・外来医療から入院医療へのシフト</li> <li>・地域の保険薬局薬剤師との連携</li> <li>・地域連携バスの拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病連携、病診連携の推進</li> <li>・外来医療から入院医療へのシフト</li> <li>・地域の保険薬局薬剤師との連携</li> <li>・地域連携バスの拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病連携、病診連携の推進</li> <li>・外来医療から入院医療へのシフト</li> <li>・地域の保険薬局薬剤師との連携</li> <li>・地域連携バスの拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病連携、病診連携の推進</li> <li>・外来医療から入院医療へのシフト</li> <li>・地域の保険薬局薬剤師との連携</li> <li>・地域連携バスの拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病連携、病診連携の推進</li> <li>・外来医療から入院医療へのシフト</li> <li>・地域の保険薬局薬剤師との連携</li> <li>・地域連携バスの拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病連携、病診連携の推進</li> <li>・外来医療から入院医療へのシフト</li> <li>・地域の保険薬局薬剤師との連携</li> <li>・地域連携バスの拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病連携、病診連携の推進</li> <li>・外来医療から入院医療へのシフト</li> <li>・地域の保険薬局薬剤師との連携</li> <li>・地域連携バスの拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①平成26年度から新会計基準に合わせて指標を変更</li> </ul>
		<p>評価点【4】</p> <p>平成27年4月にこれまでの地域医療室とがん診療支援室が合併して患者総合支援センター(スワンプラザ)が開設され、本格的な稼働を開始している。地域医療支援病院要件厳格化に伴い、平成26年度から紹介率・逆紹介率の算定方法が変更となったが、紹介率は紹介状必須の診療科を増やし徐々に増加傾向にあり新基準の65%をクリア、逆紹介率は診療科医師や医療秘書に適切な情報提供書の記載方法を指導しているが月によるばらつきが大きく、新基準の70%をクリアをめざしている。FAX事前予約は徐々に増加しており年間500件増加した。</p> <p>外来医療から入院医療へのシフトは目標までまだ不十分であるものの、平成27年度は入院患者数がやや増加し、入院患者割合はやや増加した。「スワンプラザ」開設後は入院患者がスムーズにいけるように、退院支援と入院支援の拡大充実に向けて取り組んでいる。</p> <p>薬剤師との連携は年6回行う「緩和ケアリンク」の機会に一般的な事も含めた学習会を行っている。</p> <p>以前からの脳血管障害・大腿骨頸部骨折地域連携バスとともに糖尿病・AMI地域連携バスを継続し、地域連携バス稼働数は約80件増加したが、五大がんに対するバスでは、全体の登録数が不変である。</p> <p>がん患者相談センターでの件数が年間約80件増加しており、近年の身寄りのない患者の増加により医療福祉相談などの相談での1件あたりの支援時間も増加している。</p>	<p>評価(見込)</p> <p>①新基準66%以上</p> <p>②新基準72%以上</p> <p>③13,000件</p> <p>④495人</p> <p>⑤36件</p> <p>⑥48%</p> <p>⑦200件</p>	<p>実績(見込)</p> <p>①69.8%</p> <p>②70.0%</p> <p>③12,960件</p> <p>④588人</p> <p>⑤44件</p> <p>⑥45.4%</p> <p>⑦268件</p>	<p>指標</p> <p>①新基準67%以上</p> <p>②新基準73%以上</p> <p>④13,500件</p> <p>⑤500人</p> <p>⑥49%</p> <p>⑦210件</p>	<p>指標</p> <p>①新基準68%以上</p> <p>②新基準74%以上</p> <p>④14,000件</p> <p>⑤505人</p> <p>⑥50%</p> <p>⑦220件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④・⑥来場者満足度:「満足している」割合</li> </ul>							
人 材	公立病院として地域医療に貢献 地域医療支援をめざします	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療水準の向上</li> <li>・市民啓発</li> <li>・イベントによる医療への理解向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療水準の向上</li> <li>・市民啓発</li> <li>・イベントによる医療への理解向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療水準の向上</li> <li>・市民啓発</li> <li>・イベントによる医療への理解向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療水準の向上</li> <li>・市民啓発</li> <li>・イベントによる医療への理解向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療水準の向上</li> <li>・市民啓発</li> <li>・イベントによる医療への理解向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療水準の向上</li> <li>・市民啓発</li> <li>・イベントによる医療への理解向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療水準の向上</li> <li>・市民啓発</li> <li>・イベントによる医療への理解向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療水準の向上</li> <li>・市民啓発</li> <li>・イベントによる医療への理解向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療水準の向上</li> <li>・市民啓発</li> <li>・イベントによる医療への理解向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療水準の向上</li> <li>・市民啓発</li> <li>・イベントによる医療への理解向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療水準の向上</li> <li>・市民啓発</li> <li>・イベントによる医療への理解向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療水準の向上</li> <li>・市民啓発</li> <li>・イベントによる医療への理解向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>②市民公開講座(五大がんに、市政さわやかトーク宅配便実施)</li> <li>④・⑥来場者満足度:「満足している」割合</li> </ul>
		<p>評価点【4】</p> <p>市政さわやかトーク宅配便の開催回数が増加しており、医療をテーマとするメニューへの関心の高さがうかがえる。</p> <p>中学生向け医療体験セミナーでは、「普段できない貴重な体験ができた」と「とても勉強になった」、「将来、医療に就きたい」といった声が多く聞かれた。</p> <p>市民病院ふれあいまつりは、今回で6回目の開催となった。幅広い年代の方が訪れ、満足度も9割を超えた。「病院を身近に感じられる良い機会」や「日常生活に役立つ医療情報、体験で気付かされることが多い」といった声が聞かれ、医療への理解向上を図るための有効な情報発信ツールとなっている。</p>	<p>評価(見込)</p> <p>①60人</p> <p>②20回</p> <p>③1,000部以上</p> <p>④80%</p> <p>⑤15人</p> <p>⑥70%</p>	<p>実績(見込)</p> <p>①70人</p> <p>②20回(市政さわやかトーク宅配便16回、いきいき講座4回)</p> <p>③1,100~1,200部</p> <p>④94.1%</p> <p>⑤26人(宮浦7人、曾野木4人、亀田西6人、葛塚4人、高志5人)</p> <p>⑥94.6%</p>	<p>指標</p> <p>①60人</p> <p>②20回</p> <p>③1,000部以上</p> <p>④80%</p> <p>⑤20人</p> <p>⑥75%</p>	<p>指標</p> <p>①60人</p> <p>②20回</p> <p>③1,000部以上</p> <p>④80%</p> <p>⑤20人</p> <p>⑥80%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④・⑥来場者満足度:「満足している」割合</li> </ul>							
材	臨床研修指定病院としての機能の充実 人間性豊かな医療人の育成をめざします	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の卒後研修(初期研修、後期研修)の研修プログラムを含めた体制整備</li> <li>・医学生、看護学生の教育研修推進</li> <li>・職員研修計画に基づく研修充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の卒後研修(初期研修、後期研修)の研修プログラムを含めた体制整備</li> <li>・医学生、看護学生の教育研修推進</li> <li>・職員研修計画に基づく研修充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の卒後研修(初期研修、後期研修)の研修プログラムを含めた体制整備</li> <li>・医学生、看護学生の教育研修推進</li> <li>・職員研修計画に基づく研修充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の卒後研修(初期研修、後期研修)の研修プログラムを含めた体制整備</li> <li>・医学生、看護学生の教育研修推進</li> <li>・職員研修計画に基づく研修充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の卒後研修(初期研修、後期研修)の研修プログラムを含めた体制整備</li> <li>・医学生、看護学生の教育研修推進</li> <li>・職員研修計画に基づく研修充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の卒後研修(初期研修、後期研修)の研修プログラムを含めた体制整備</li> <li>・医学生、看護学生の教育研修推進</li> <li>・職員研修計画に基づく研修充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の卒後研修(初期研修、後期研修)の研修プログラムを含めた体制整備</li> <li>・医学生、看護学生の教育研修推進</li> <li>・職員研修計画に基づく研修充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の卒後研修(初期研修、後期研修)の研修プログラムを含めた体制整備</li> <li>・医学生、看護学生の教育研修推進</li> <li>・職員研修計画に基づく研修充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の卒後研修(初期研修、後期研修)の研修プログラムを含めた体制整備</li> <li>・医学生、看護学生の教育研修推進</li> <li>・職員研修計画に基づく研修充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の卒後研修(初期研修、後期研修)の研修プログラムを含めた体制整備</li> <li>・医学生、看護学生の教育研修推進</li> <li>・職員研修計画に基づく研修充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の卒後研修(初期研修、後期研修)の研修プログラムを含めた体制整備</li> <li>・医学生、看護学生の教育研修推進</li> <li>・職員研修計画に基づく研修充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の卒後研修(初期研修、後期研修)の研修プログラムを含めた体制整備</li> <li>・医学生、看護学生の教育研修推進</li> <li>・職員研修計画に基づく研修充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の卒後研修(初期研修、後期研修)の研修プログラムを含めた体制整備</li> <li>・医学生、看護学生の教育研修推進</li> <li>・職員研修計画に基づく研修充実</li> </ul>
		<p>評価点【4】</p> <p>臨床研修医マッチングはフルマッチしていたが、初期研修は1年生が11名、2年生11名であった。また、1年生の1名が健康上の理由で研修中断となった。平成28年度の臨床研修医マッチングで13名がフルマッチした。研修プログラム等専門部会を中心として、指導医養成、研修プログラムの改善、レジナビフェアや新潟県卒後臨床研修合同カレッジや研修フォーラムへ参加した。</p> <p>医学生や看護学生の来実習も積極的に受け入れた。医学生生の病院見学は研修病院決定に重要なものなので、新潟大学以外の学生を含め希望に応えた。また、見学者からの評価も良かった。</p> <p>職員研修は、①新採用職員研修、②総合教育研修、③テーマ別研修、④所属別研修、⑤専門研究研修、⑥臨床研修・実習の各分野で例年通り行った。院内集談会の前期定例会は「医療におけるコミュニケーション」、後期定例会は「医療の場の接遇とコミュニケーション」をテーマに行った。</p>	<p>評価(見込)</p> <p>①7.22人(平成28年1月以降は21人)</p> <p>④1.13人</p> <p>②100人</p> <p>③371人</p> <p>④186人</p> <p>⑤4回</p> <p>⑥2回</p> <p>⑦21体</p> <p>⑧10回</p>	<p>実績(見込)</p> <p>①7.26人</p> <p>④1.13人</p> <p>②70人</p> <p>③350人</p> <p>④60人</p> <p>⑤4回</p> <p>⑥2回</p> <p>⑦20体</p> <p>⑧12回</p>	<p>指標</p> <p>①7.24人</p> <p>④1.12人</p> <p>②60人</p> <p>③330人</p> <p>④60人</p> <p>⑤4回</p> <p>⑥2回</p> <p>⑦20体</p> <p>⑧12回</p>	<p>指標</p> <p>①7.23人</p> <p>④1.12人</p> <p>②110人</p> <p>③333人</p> <p>④178人</p> <p>⑤4回</p> <p>⑥2回</p> <p>⑦20体</p> <p>⑧16回</p>	<p>指標</p> <p>①7.24人</p> <p>④1.13人</p> <p>②60人</p> <p>③330人</p> <p>④60人</p> <p>⑤4回</p> <p>⑥2回</p> <p>⑦20体</p> <p>⑧12回</p>	<p>指標</p> <p>①7.23人</p> <p>④1.13人</p> <p>②106人</p> <p>③324人</p> <p>④192人</p> <p>⑤4回</p> <p>⑥2回</p> <p>⑦21体</p> <p>⑧15回</p>	<p>指標</p> <p>①7.25人</p> <p>④1.13人</p> <p>②60人</p> <p>③330人</p> <p>④60人</p> <p>⑤4回</p> <p>⑥2回</p> <p>⑦20体</p> <p>⑧12回</p>	<p>指標</p> <p>①7.26人</p> <p>④1.13人</p> <p>②70人</p> <p>③350人</p> <p>④60人</p> <p>⑤4回</p> <p>⑥2回</p> <p>⑦20体</p> <p>⑧12回</p>	<p>指標</p> <p>①7.24人</p> <p>④1.12人</p> <p>②60人</p> <p>③330人</p> <p>④60人</p> <p>⑤4回</p> <p>⑥2回</p> <p>⑦20体</p> <p>⑧12回</p>	<p>指標</p> <p>①7.23人</p> <p>④1.12人</p> <p>②110人</p> <p>③333人</p> <p>④178人</p> <p>⑤4回</p> <p>⑥2回</p> <p>⑦20体</p> <p>⑧16回</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④・⑥来場者満足度:「満足している」割合</li> </ul>	
材	計画的な職員採用と人材育成の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価制度の実施と充実</li> <li>・医療スタッフ(特に看護師)の確保</li> <li>・人材育成制度の充実</li> <li>・小集団活動チームの設置</li> <li>・TQCの普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価制度の実施と充実</li> <li>・医療スタッフ(特に看護師)の確保</li> <li>・人材育成制度の充実</li> <li>・小集団活動チームの設置</li> <li>・TQCの普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価制度の実施と充実</li> <li>・医療スタッフ(特に看護師)の確保</li> <li>・人材育成制度の充実</li> <li>・小集団活動チームの設置</li> <li>・TQCの普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価制度の実施と充実</li> <li>・医療スタッフ(特に看護師)の確保</li> <li>・人材育成制度の充実</li> <li>・小集団活動チームの設置</li> <li>・TQCの普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価制度の実施と充実</li> <li>・医療スタッフ(特に看護師)の確保</li> <li>・人材育成制度の充実</li> <li>・小集団活動チームの設置</li> <li>・TQCの普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価制度の実施と充実</li> <li>・医療スタッフ(特に看護師)の確保</li> <li>・人材育成制度の充実</li> <li>・小集団活動チームの設置</li> <li>・TQCの普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価制度の実施と充実</li> <li>・医療スタッフ(特に看護師)の確保</li> <li>・人材育成制度の充実</li> <li>・小集団活動チームの設置</li> <li>・TQCの普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価制度の実施と充実</li> <li>・医療スタッフ(特に看護師)の確保</li> <li>・人材育成制度の充実</li> <li>・小集団活動チームの設置</li> <li>・TQCの普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価制度の実施と充実</li> <li>・医療スタッフ(特に看護師)の確保</li> <li>・人材育成制度の充実</li> <li>・小集団活動チームの設置</li> <li>・TQCの普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価制度の実施と充実</li> <li>・医療スタッフ(特に看護師)の確保</li> <li>・人材育成制度の充実</li> <li>・小集団活動チームの設置</li> <li>・TQCの普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価制度の実施と充実</li> <li>・医療スタッフ(特に看護師)の確保</li> <li>・人材育成制度の充実</li> <li>・小集団活動チームの設置</li> <li>・TQCの普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価制度の実施と充実</li> <li>・医療スタッフ(特に看護師)の確保</li> <li>・人材育成制度の充実</li> <li>・小集団活動チームの設置</li> <li>・TQCの普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④新規認定看護師数</li> </ul>
		<p>評価点【3】</p> <p>人事評価制度について、当院の制度は、19年度に開始した当院独自の制度であり、全職員(研修医は別途評価)を対象に「共通・専門+目標」の三段階で行うものであり、20年度以降は、共通+専門の項目評価に加え、各自設定した目標に対する業績評価を行っている。</p> <p>医療スタッフの確保について、採用に関しては、看護師の採用が目標を下回ったが、7対1の体制を維持することはできた。(目標:80名採用、実績:55名採用)</p> <p>認定看護師の認定は、養成機関への受験に2名合格した。</p> <p>また、QCサークル活動の小集団活動を継続した。小集団活動チームは、9チームが活動を行った。</p>	<p>評価(見込)</p> <p>①100%</p> <p>②100%</p> <p>③6.50%</p> <p>④2人</p>	<p>実績(見込)</p> <p>①100%</p> <p>②68.8%</p> <p>③7.56%</p> <p>④2人</p>	<p>指標</p> <p>①100%</p> <p>②100%</p> <p>③6.50%</p> <p>④2人</p>	<p>指標</p> <p>①100%</p> <p>②100%</p> <p>③6.91%</p> <p>④2人</p>	<p>指標</p> <p>①100%</p> <p>②100%</p> <p>③6.50%</p> <p>④2人</p>	<p>指標</p> <p>①100%</p> <p>②85%</p> <p>③6.90%</p> <p>④2人</p>	<p>指標</p> <p>①100%</p> <p>②100%</p> <p>③6.50%</p> <p>④2人</p>	<p>指標</p> <p>①100%</p> <p>②100%</p> <p>③6.50%</p> <p>④2人</p>	<p>指標</p> <p>①100%</p> <p>②100%</p> <p>③6.50%</p> <p>④2人</p>	<p>指標</p> <p>①100%</p> <p>②100%</p> <p>③6.50%</p> <p>④2人</p>	<p>指標</p> <p>①100%</p> <p>②100%</p> <p>③6.50%</p> <p>④2人</p>	<p>指標</p> <p>①100%</p> <p>②100%</p> <p>③6.50%</p> <p>④2人</p>



視点 基本 方針	主要 項目	年度		平成25年度(2013)		平成26年度(2014)		平成27年度(2015)		平成28年度(2016)		平成29年度(2017)		備考	
		目標及び指標	目標	目標	実績	目標	実績	目標	実績(見込)	目標	実績(見込)	目標	実績(見込)		
付帯設備の機能充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルステーションを利用した研修の推進</li> <li>・図書室の内容の充実</li> <li>・新スキルステーションの整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルステーションを利用した研修の推進</li> <li>・図書室の内容の充実</li> <li>・新スキルステーションの整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルステーションを利用した研修の推進</li> <li>・図書室の内容の充実</li> <li>・新スキルステーションの整備</li> </ul>	<p>評価点【4】</p> <p>スキルステーションについては、本格的な運用を継続した。シミュレーター教育の質向上のため、研修指導医1名がシミュレーター教育指導医講習会を受講した。</p> <p>図書室については、①研修医向けの図書室のオリエンテーションを実施した。②「Up to date」の研修会並びに「クリニカルキー」の説明会を行った。③全図書室の電子化に伴い、HPを開設した。院内どこからでも図書室資料の蔵書点検を行い、不明本を明らかにした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルステーションを利用した研修の推進</li> <li>・図書室の内容の充実</li> <li>・新スキルステーションの整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルステーションを利用した研修の推進</li> <li>・図書室の内容の充実</li> <li>・新スキルステーションの整備</li> </ul>								
		指標	指標	実績	指標	実績	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	
		①職員図書室の新規蔵書拡充	① 150冊	① 166冊	① 150冊	① 201冊	① 150冊	① 345冊	① 150冊	① 150冊	① 150冊	① 150冊	① 150冊	① 150冊	
②新スキルステーションの整備(H25)	② H25. 11月供用開始	②施設整備完了	③ 50件	③ 40件	③ 50件	③ 62件	③ 50件	③ 50件	③ 50件	③ 50件	③ 50件	③ 50件	③研修開催件数		
③新スキルステーションでの研修実施件数	③ 5件(11月供用開始のため)	③ 21件													
人間性豊かな医療人の育成をめざします	職員満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の労働環境の改善</li> <li>・仕事のやりがい向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の労働環境の改善</li> <li>・仕事のやりがい向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の労働環境の改善</li> <li>・仕事のやりがい向上</li> </ul>	<p>評価点【2】</p> <p>満足度については、「全体として、この病院で働いていることに満足している」との回答の割合が、全職種平均で50%を超える見込みである。職員調査は調査開始以降着実に満足度の数値が上がってきていたが、平成27年度は全体で1.6%低下となる見込みである。</p> <p>職員の負担軽減を図るため、医師事務補助員はH28年1月現在60名と昨年度に引き続き、人員を維持している。引き続き過重労働対策に取り組んでいく必要がある。医師3人に1人の配置となっており、配置した職員のスキルも年々向上しており、医師の負担軽減に高い効果が出ていると評価している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の労働環境の改善</li> <li>・仕事のやりがい向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の労働環境の改善</li> <li>・仕事のやりがい向上</li> </ul>								
		指標	指標	実績	指標	実績	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	
		①過重労働対策該当者(対前年度該当者数)	① 10%減	① 7.07%増 H25年度 107.7人/月(うち医師84.4人/月)	① 10%減	① 1.57%減 H26年度 45h/月以上 103.8人/月(うち、医師83.0人/月)	① 10%減	① 1.16%増 H27年度 45h/月以上 120.8人/月(うち、医師102.3人/月)	① 10%減	① 10%減	① 10%減	① 10%減	① 10%減	① 10%減	
②職員満足度調査結果 ア.モチベーションポイント	②職員満足度調査結果 ア.モチベーションポイント	ア.モチベーションポイント a. 65.6% (医師 69.9% 病棟看護師 65.6% 外来看護師 70.1% 医療技術員 60.9% 事務 63.4%) b. 59.7% (医師 74.1% 病棟看護師 59.4% 外来看護師 53.7% 医療技術員 52.1% 事務 61.0%) c. 54.1% (医師 75.9% 病棟看護師 51.6% 外来看護師 56.7% 医療技術員 50.9% 事務 50.5%)	② ア.モチベーションポイント a. 67.7% (医師 75.7% 病棟看護師 66.5% 外来看護師 81.8% 医療技術員 66.1% 事務 62.3%) b. 66.2% (医師 76.3% 病棟看護師 63.2% 外来看護師 73.1% 医療技術員 65.5% 事務 69.5%) c. 59.9% (医師 84.2% 病棟看護師 53.2% 外来看護師 66.7% 医療技術員 70.6% 事務 57.6%)	② ア.モチベーションポイント a. 65.0% (医師 77.3% 病棟看護師 60.1% 外来看護師 64.2% 医療技術員 59.8% 事務 68.5%) b. 62.5% (医師 77.0% 病棟看護師 57.5% 外来看護師 59.0% 医療技術員 63.1% 事務 61.6%) c. 59.3% (医師 77.0% 病棟看護師 57.5% 外来看護師 59.0% 医療技術員 63.1% 事務 61.6%)	② ア.モチベーションポイント a. 66.0% (医師 75.8% 病棟看護師 50.1% 外来看護師 63.7% 医療技術員 62.7% 事務 78.2%) b. 68.8% (医師 75.5% 病棟看護師 68.8% 外来看護師 72.4% 医療技術員 75.9% 事務 69.2%) c. 52.2% (医師 70.7% 病棟看護師 44.0% 外来看護師 54.0% 医療技術員 58.4% 事務 70.6%)	② ア.モチベーションポイント a. 66.0% (医師 75.8% 病棟看護師 50.1% 外来看護師 63.7% 医療技術員 62.7% 事務 78.2%) b. 68.8% (医師 75.5% 病棟看護師 68.8% 外来看護師 72.4% 医療技術員 75.9% 事務 69.2%) c. 52.2% (医師 70.7% 病棟看護師 44.0% 外来看護師 54.0% 医療技術員 58.4% 事務 70.6%)	② ア.モチベーションポイント a. 66.0% (医師 75.8% 病棟看護師 50.1% 外来看護師 63.7% 医療技術員 62.7% 事務 78.2%) b. 68.8% (医師 75.5% 病棟看護師 68.8% 外来看護師 72.4% 医療技術員 75.9% 事務 69.2%) c. 52.2% (医師 70.7% 病棟看護師 44.0% 外来看護師 54.0% 医療技術員 58.4% 事務 70.6%)	② ア.モチベーションポイント a. 66.0% (医師 75.8% 病棟看護師 50.1% 外来看護師 63.7% 医療技術員 62.7% 事務 78.2%) b. 68.8% (医師 75.5% 病棟看護師 68.8% 外来看護師 72.4% 医療技術員 75.9% 事務 69.2%) c. 52.2% (医師 70.7% 病棟看護師 44.0% 外来看護師 54.0% 医療技術員 58.4% 事務 70.6%)	② ア.モチベーションポイント a. 66.0% (医師 75.8% 病棟看護師 50.1% 外来看護師 63.7% 医療技術員 62.7% 事務 78.2%) b. 68.8% (医師 75.5% 病棟看護師 68.8% 外来看護師 72.4% 医療技術員 75.9% 事務 69.2%) c. 52.2% (医師 70.7% 病棟看護師 44.0% 外来看護師 54.0% 医療技術員 58.4% 事務 70.6%)	② ア.モチベーションポイント a. 66.0% (医師 75.8% 病棟看護師 50.1% 外来看護師 63.7% 医療技術員 62.7% 事務 78.2%) b. 68.8% (医師 75.5% 病棟看護師 68.8% 外来看護師 72.4% 医療技術員 75.9% 事務 69.2%) c. 52.2% (医師 70.7% 病棟看護師 44.0% 外来看護師 54.0% 医療技術員 58.4% 事務 70.6%)	② ア.モチベーションポイント a. 66.0% (医師 75.8% 病棟看護師 50.1% 外来看護師 63.7% 医療技術員 62.7% 事務 78.2%) b. 68.8% (医師 75.5% 病棟看護師 68.8% 外来看護師 72.4% 医療技術員 75.9% 事務 69.2%) c. 52.2% (医師 70.7% 病棟看護師 44.0% 外来看護師 54.0% 医療技術員 58.4% 事務 70.6%)	②職員満足度 ・肯定的な回答の割合			
イ.総合的な充足度 a.この病院で働くことによかった	イ.総合的な充足度 a. 56.0%	イ.総合的な充足度 a. 57.7% (医師 85.4% 病棟看護師 47.1% 外来看護師 56.1% 医療技術員 60.1% 事務 74.5%)	イ.総合的な充足度 a. 57.5% (医師 84.2% 病棟看護師 50.1% 外来看護師 72.8% 医療技術員 67.1% 事務 77.8%)	イ.総合的な充足度 a. 59.0% (医師 84.2% 病棟看護師 50.1% 外来看護師 72.8% 医療技術員 67.1% 事務 77.8%)	イ.総合的な充足度 a. 58.2% (医師 75.8% 病棟看護師 50.1% 外来看護師 63.7% 医療技術員 62.7% 事務 78.2%)	イ.総合的な充足度 a. 60.5% (医師 75.8% 病棟看護師 50.1% 外来看護師 63.7% 医療技術員 62.7% 事務 78.2%)	イ.総合的な充足度 a. 60.5% (医師 75.8% 病棟看護師 50.1% 外来看護師 63.7% 医療技術員 62.7% 事務 78.2%)	イ.総合的な充足度 a. 60.5% (医師 75.8% 病棟看護師 50.1% 外来看護師 63.7% 医療技術員 62.7% 事務 78.2%)	イ.総合的な充足度 a. 60.5% (医師 75.8% 病棟看護師 50.1% 外来看護師 63.7% 医療技術員 62.7% 事務 78.2%)	イ.総合的な充足度 a. 60.5% (医師 75.8% 病棟看護師 50.1% 外来看護師 63.7% 医療技術員 62.7% 事務 78.2%)	イ.総合的な充足度 a. 60.5% (医師 75.8% 病棟看護師 50.1% 外来看護師 63.7% 医療技術員 62.7% 事務 78.2%)	イ.総合的な充足度 a. 60.5% (医師 75.8% 病棟看護師 50.1% 外来看護師 63.7% 医療技術員 62.7% 事務 78.2%)			
イ.総合的な充足度 b.専門的な技能や知識が向上する	イ.総合的な充足度 b. 66.0%	イ.総合的な充足度 b. 69.0% (医師 86.4% 病棟看護師 64.9% 外来看護師 68.2% 医療技術員 75.0% 事務 72.5%)	イ.総合的な充足度 b. 68.0% (医師 80.7% 病棟看護師 68.1% 外来看護師 83.3% 医療技術員 75.7% 事務 72.8%)	イ.総合的な充足度 b. 70.0% (医師 80.7% 病棟看護師 68.1% 外来看護師 83.3% 医療技術員 75.7% 事務 72.8%)	イ.総合的な充足度 b. 68.8% (医師 75.5% 病棟看護師 68.8% 外来看護師 72.4% 医療技術員 75.9% 事務 69.2%)	イ.総合的な充足度 b. 72.0% (医師 75.5% 病棟看護師 68.8% 外来看護師 72.4% 医療技術員 75.9% 事務 69.2%)	イ.総合的な充足度 b. 72.0% (医師 75.5% 病棟看護師 68.8% 外来看護師 72.4% 医療技術員 75.9% 事務 69.2%)	イ.総合的な充足度 b. 72.0% (医師 75.5% 病棟看護師 68.8% 外来看護師 72.4% 医療技術員 75.9% 事務 69.2%)	イ.総合的な充足度 b. 72.0% (医師 75.5% 病棟看護師 68.8% 外来看護師 72.4% 医療技術員 75.9% 事務 69.2%)	イ.総合的な充足度 b. 72.0% (医師 75.5% 病棟看護師 68.8% 外来看護師 72.4% 医療技術員 75.9% 事務 69.2%)	イ.総合的な充足度 b. 72.0% (医師 75.5% 病棟看護師 68.8% 外来看護師 72.4% 医療技術員 75.9% 事務 69.2%)	イ.総合的な充足度 b. 72.0% (医師 75.5% 病棟看護師 68.8% 外来看護師 72.4% 医療技術員 75.9% 事務 69.2%)			
イ.総合的な充足度 c.全体としてこの病院で働いていることに満足している	イ.総合的な充足度 c. 50.0%	イ.総合的な充足度 c. 52.2% (医師 82.4% 病棟看護師 41.7% 外来看護師 46.2% 医療技術員 53.4% 事務 69.8%)	イ.総合的な充足度 c. 52.0% (医師 78.9% 病棟看護師 40.9% 外来看護師 58.8% 医療技術員 61.3% 事務 73.9%)	イ.総合的な充足度 c. 54.0% (医師 78.9% 病棟看護師 40.9% 外来看護師 58.8% 医療技術員 61.3% 事務 73.9%)	イ.総合的な充足度 c. 52.2% (医師 70.7% 病棟看護師 44.0% 外来看護師 54.0% 医療技術員 58.4% 事務 70.6%)	イ.総合的な充足度 c. 56.0% (医師 70.7% 病棟看護師 44.0% 外来看護師 54.0% 医療技術員 58.4% 事務 70.6%)	イ.総合的な充足度 c. 56.0% (医師 70.7% 病棟看護師 44.0% 外来看護師 54.0% 医療技術員 58.4% 事務 70.6%)	イ.総合的な充足度 c. 56.0% (医師 70.7% 病棟看護師 44.0% 外来看護師 54.0% 医療技術員 58.4% 事務 70.6%)	イ.総合的な充足度 c. 56.0% (医師 70.7% 病棟看護師 44.0% 外来看護師 54.0% 医療技術員 58.4% 事務 70.6%)	イ.総合的な充足度 c. 56.0% (医師 70.7% 病棟看護師 44.0% 外来看護師 54.0% 医療技術員 58.4% 事務 70.6%)	イ.総合的な充足度 c. 56.0% (医師 70.7% 病棟看護師 44.0% 外来看護師 54.0% 医療技術員 58.4% 事務 70.6%)	イ.総合的な充足度 c. 56.0% (医師 70.7% 病棟看護師 44.0% 外来看護師 54.0% 医療技術員 58.4% 事務 70.6%)			
効率的経営の推進	健全経営を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経費の節減</li> <li>・収益の確保</li> <li>・全部適用による自立的経営の確立</li> <li>・地方公営企業会計新基準への対応(H25~H27)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経費の節減</li> <li>・収益の確保</li> <li>・全部適用による自立的経営の確立</li> <li>・地方公営企業会計新基準への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経費の節減</li> <li>・収益の確保</li> <li>・全部適用による自立的経営の確立</li> <li>・地方公営企業会計新基準への対応</li> </ul>	<p>評価点【3】</p> <p>経費の節減について、平成27年度は病床稼働率の上昇に伴い、材料費率も上昇し、32.8%と指標値を超越する見込みである。</p> <p>収益の確保について、院長より各部署へ①病床稼働率は93.5%を目指すこと ②救急を断らないこと ③各部署で経営改善に資する取り組みを一層進めることを要請し、入院・外来ともに増収となった。</p> <p>自立的経営の確立について、経常収支での黒字を確保するためには、これまでと同様に、患者さんの積極的な受け入れが大切である。引き続き、円滑な病床コントロールによる平均在院日数の短縮など、必要な取り組みを進めていく。</p> <p>地方公営企業会計新基準への対応について、平成26年度決算時に、検証済みである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経費の節減</li> <li>・収益の確保</li> <li>・全部適用による自立的経営の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経費の節減</li> <li>・収益の確保</li> <li>・全部適用による自立的経営の確立</li> </ul>								
		指標	指標	実績	指標	実績	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	
		①経常収支比率	① 98.1%	① 102.4%	① 100.4%以上	① 100.4%	① 100.4%	① 100.6%	① 101.1%	① 101.1%	① 101.1%	① 101.1%	① 101.1%	① 101.1%	
②医業収支比率	② 89.6%	② 93.7%	② 88.6%以上	② 89.0%	② 87.7%	② 88.0%	② 87.5%	② 87.5%	② 87.5%	② 87.5%	② 87.5%	② 87.5%			
③職員給与対医業収支比率 ・退職給付費除く	③ 52.9%	③ 50.6%	③ 53.9%以下	③ 53.6%	③ 54.6%	③ 53.7%	③ 55.2%	③ 55.2%	③ 55.2%	③ 55.2%	③ 55.2%	③ 55.2%			
④材料費対医業収支比率 ・うち薬品費対医業収支比率	④ 29.9%	④ 29.9%	④ 29.9%以下	④ 31.1%	④ 30.4%	④ 32.8%	④ 30.0%	④ 30.0%	④ 30.0%	④ 30.0%	④ 30.0%	④ 30.0%			
⑤病床利用率	⑤ 93.5%	⑤ 93.2%	⑤ 93.5%以上	⑤ 91.0%	⑤ 93.5%	⑤ 92.8%	⑤ 93.5%	⑤ 93.5%	⑤ 93.5%	⑤ 93.5%	⑤ 93.5%	⑤ 93.5%			
⑥平均在院日数	⑥ 12.1日	⑥ 12.3日	⑥ 12.0日以下	⑥ 12.3日	⑥ 11.9日	⑥ 12.1日	⑥ 11.7日	⑥ 11.7日	⑥ 11.7日	⑥ 11.7日	⑥ 11.7日	⑥ 11.7日			
⑦新会計基準への円滑な移行	⑦ 移行準備	⑦ 移行	⑦ 移行	⑦ 移行	⑦ 検証	⑦ 検証									
新施設建設事業の円滑な推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新病棟の建設と開設(H25~H26)</li> <li>・リニアック棟の建設と稼働(H25~H26)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新病棟の建設と開設</li> <li>・リニアック棟の建設と稼働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新病棟の建設と開設</li> <li>・リニアック棟の建設と稼働</li> </ul>											
		指標	指標	実績	指標	実績	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	指標	実績(見込)	
		①新病棟建設事業の着実な推進と開設	① 11月開設	① 使用開始	① 既存建物改修	① 平成27年3月工事完了 4月からスワンプラザ他運用開始									
②リニアック棟の円滑な更新と着実な稼働	② 実施設計	② 実施設計完了	② 建設・更新	② 平成27年3月建物竣工、機器設置完了											

## 議事第5号 新公立病院改革プラン（新・中期計画）について

## (1)新プランの計画期間と、現計画との関係について

## ①計画期間

平成29年度(2017年度)～平成33年度(2021年度)の5年間とする。

②現在の中期計画は、平成28年度で終了とし、平成29年度からは、新しい計画に移行する。

## (2)計画に関する基本的事項の確認

基本的事項	各事項の内容		左記の考え方
①前提とする条件	病床機能	高度急性期及び急性期病床	地域医療構想との整合性を確認する必要がある。
	病床数	現状と同じ (一般652、精神16、感染症8)	
②基本理念	◎患者とともにある全人的医療		現計画と同じ
③基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○患者さんに信頼される、ぬくもりのある医療を目指します</li> <li>○重症・専門・救急を中心に、質の高い医療をめざします</li> <li>○地域医療機関や福祉施設と連携し、人々の健康支援をめざします</li> <li>○人間性豊かな医療人の育成をめざします</li> </ul>		現計画と同じ
④病院の方向性	基本理念、及び、各基本方針を踏まえて病院の方向性を示す		別紙参照
⑤経営形態の見直し	地域医療構想が示す医療需要や病床の機能区分ごとの将来病床数必要量を確認のうえ、必要に応じて検討する		

## 別紙「④病院の方向性」について

(2)-④関連)

基本方針	方向性や将来像	方向性や将来像の詳細
重症・専門・救急を中心に、質の高い医療をめざします	①新潟医療圏における高度急性期としての役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急患者の積極的な受け入れ</li> <li>一次、二次医療機関や救急ステーションとの連携強化</li> </ul>
	○病床機能の将来像など	(地域医療構想策定後、構想を踏まえた病床機能の将来像等を追記する予定)
患者に信頼されるぬくもりのある医療をめざします	②患者サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>スワンプラザを活用した患者相談窓口の一元化などによる丁寧な相談対応</li> </ul>
	③医療安全の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>インシデント報告の分析と改善策の検討</li> <li>医療安全研修</li> </ul>
地域医療機関や福祉施設と連携し、人々の健康支援をめざします	④地域医療支援病院としての役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>病病連携や病診連携の強化</li> <li>地域完結型医療を実現する役割を担う</li> </ul>
	⑤地域包括ケアシステムの構築における役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>三次救急に対応した後方支援</li> <li>急性期後の在宅復帰や地域での生活に向けた支援</li> </ul>
人間性豊かな医療人の育成をめざします	⑥地域医療を担う人材育成の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師の卒後研修プログラムを含めた体制の整備</li> <li>医学生、看護学生実習の積極的な受け入れ</li> </ul>
	⑦働きやすく働きがいのある職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な医療スタッフの確保</li> <li>職員満足度調査の結果を反映した環境整備</li> </ul>

「新・中期計画の策定スケジュールについて」

	平成27年度		平成28年度				平成29年度	
	10月	3月	6~7月	9月	10~11月	2~3月	10~11月	2~3月
<b>新・中期計画</b>			☑各部等の方向性が整った 段階で進捗報告				—————→	
病院事業 運営 審議会	①関連した国の動き ②新計画イメージ ・期間は5年間	①計画期間について ・平成29~33年度 ②基本事項の確認 ・基本理念や方針など	①方向性等の提示 ・病院の方向性 ・各部等の方向性		①計画案の概要	①新中期計画 (中期経営計画含む)	☑計画を変更する場合、 諮問を予定 ①変更後計画 ・地域医療構想 との整合性	①平成29年度 中間報告
市議会				・議会報告 (1)パブコメについて		・議会報告 (1)新中期計画 (2)パブコメ結果		
パブリック コメント					・パブコメの実施 (1か月程度)			
地域医療 構想	—————→						・構想完成を想定	
<b>現・中期計画</b>								
	27年度中間評価		—————→			27年度実績評価	28年度中間評価	28年度実績評価

※スケジュールは、現時点における予定であり、変更される場合があることに注意

# 新潟市病院事業運営審議会 委員名簿

(平成28年3月22日現在)

区分	氏名	役職等
新潟大学 医学部	うしき たつお 牛木 辰男	新潟大学医学部長
	えんどう なおと 遠藤 直人	新潟大学医学部整形外科学分野教授
	そめや としゆき 染矢 俊幸	新潟大学医学部精神医学分野教授
新潟県 医師会	わたなべ とおる 渡部 透	新潟県医師会会長
	どうまえ よういちろう 堂前 洋一郎	新潟県医師会理事
新潟市 医師会	ふじた かずたか 藤田 一隆	新潟市医師会会長
	ながい あきひこ 永井 明彦	新潟市医師会副会長
知識 経験者	おおはし みちこ 大橋 道子	新潟市中央福祉会常務理事 ワークセンター日和山施設長
	なかむら しげる 中村 茂	新潟日報社編集局報道部第二部長
	さとう たづ子 佐藤 たづ子	新潟県看護協会会長
	やまぎし みえこ 山岸 美恵子	新潟県薬剤師会会長
	わたなべ たみこ 渡辺 田美子	
	すがわら まゆみ 菅原 真優美	新潟青陵大学看護福祉心理学部看護学科准教授
公募委員	さいとう さゆり 齋藤 さゆり	
	さいとう みちこ 齋藤 美智子	

# 平成27年度第2回新潟市病院事業運営審議会 席次表

会場：307会議室

